

2015 年度年次大会 会長報告

2016 年 7 月 23 日（土曜日）

於：香港日本人倶楽部

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

会員の皆様

本日はご多忙の中、「非営利団体」NPO 法人である香港日本語教育研究会第八回総会にご臨席を賜り、心より感謝を申し上げます。

まずは、去る 4 月 14 日の九州熊本地方地震により被災された方々やそのご家族に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当研究会は 1978 年に香港における日本語教育関係者の親睦・情報交換を目的として創立され、2007 年 9 月に香港政府より非営利団体 NPO 法人として認められました。それ以来、皆様のご指導とご協力により、日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々との学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

2015 年度における当研究会の活動でございますが、まず、年少者のための日本語教育の普及、促進を目的といたしました「香港小中高生日本語スピーチコンテスト」が第 11 回目を迎えました。数多くの応募者の中から、厳しい予選を経て、小学生の「詩の朗読」、中高生の「詞の朗読」、中高生の「朗読劇」、高校生のスピーチの 4 つの部に合計 53 名の出場者が選出されました。出場者それぞれ素晴らしいパフォーマンスを披露し、来場者に大きな感動をもたらしました。

そして、年少の日本語学習者の学習意欲を高めるために 2011 年に設立した日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞は、2015 年 10 月に 5 回目の授与式を行いました。高校の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、12 名にプロジェクト賞を授与しました。また、副学士課程の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、10 名にプロジェクト賞を授与しました。

また、香港の日本語教師の要望に応えるため、国際交流基金の海外派遣日本語上級専門家であらっしゃる宇田川洋子先生及び日本語教育専門家山下直子先生のご協力を得て日本語教育のワークショップとセミナーを開催いたし、好評を博しました。

なお、香港日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、オーストラリア、欧州、カナダの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。これによりまして、世界各地との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。なお、2015年の研究会の業務が順調に運ばれましたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたしております。

香港の日本語教育の促進がますます繰り広げられますことを心より期待申し上げます。今後とも、引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2015年度(2015年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

1月24日、「Professional Development for Teachers with HKDSE Japanese Programme」を開催しました。講師は宇田川洋子先生(国際交流基金海外派遣日本語教育専門家)でした。

3月14日及び15日、「文化理解を重視した談話能力向上のためのコースデザイン及び教授法」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金 JF にほんごネットワークで、会場協賛は香港公開大学李嘉誠專業進修学院でした。内容は以下の通りです。

講演会

- ① 「プロフィシエンシーを高めるための談話教育—スピーキング—」
鎌田修教授(南山大学)
- ② 「プロフィシエンシーを高めるための談話教育—ライティング—」
由井紀久子教授(京都外国語大学)

ワークショップ

- ① 「プロフィシエンシーを高めるための談話教育—スピーキング—」
鎌田修教授(南山大学)
- ② 「プロフィシエンシーを高めるための談話教育—ライティング—」
由井紀久子教授(京都外国語大学)

4月24日、「中上級を教える—アウトプットの言語活動」という特別セミナーを開催しました。講師は平田好先生(国際交流基金北京文化センター海外派遣日本語教育専門家)及び山下直子先生(国際交流基金海外派遣日本語教育専門家)でした。

4月26日、第11回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。

会場：香港公開大学李嘉誠專業進修学院葵興教学中心 11 樓演講廳

出場者数：暗誦の部(小学生)11名、暗誦の部(中/高生)10名、朗読劇の部(中学生)五チーム、スピーチの部(高校生)9名、参加者合計53名。

6月、「第十五期日本語教師研修会」修了。修了生四名。

6月21日、2015年第1回日本語能力試験(N3及びN5級)模擬試験実施(応募者数-450名)。

7月5日、2015年第1回日本語能力試験(N1～N5級)実施(応募者数-5955名)。

7月11日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接実施。

7月18日、香港日本語教育研究会第七回総会開催、2015-17年度理事立候補者10名が定数(11名)に満たなかったため、全員無投票当選となりました。

7月、『日本学刊』第18号を発行、総会で会員へ配布し、香港および海外の日本語関係機関に郵送にて送付。

8月8日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接実施。

10月3日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞授賞式。

11月15日、香港地域における2015年第2回日本語能力試験(N4及びN5)模擬試験実施(応募者数-600名)。

12月6日、2015年第2回日本語能力試験(N1～N5級)実施(応募者数-6748名)。

2015年度の香港における日本語能力試験実施は2回(受験応募者数合計-12703名)。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定。
2015年度は計12回の会議を実施。

【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、当研究会事務所のホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施。

講師—香港で高等教育、中等教育、日本関係研究携わっていらっしゃる方々。

2015年度は計6回開催し、参加者平均約20名。

以上